

# ひまわりだより

春日こども園  
令和5年度 活動報告 NO.7



## <正月遊び>

日本の伝承遊びに親しめるようにこま・あやとり・福笑いなどの正月遊びをして過ごしています。こまは「冬休みにおうちで沢山練習したから回せるようになったよ」と嬉しそうに見せてくれる子がいました。その姿に刺激され、友達と勝負したり、教え合ったりして一緒に楽しんでいます。あやとりでは「ほうき」に挑戦しています。難しいと感じながらも諦めず繰り返し練習し成功することで達成感を感じているようでした。福笑いは、最初遊ぶ子がいなかったのですが、保育者が遊びを見せると「やってみたい!」といつの間にか大人気の遊びになりました。手で目を隠したり自分たちで目隠しを作ったりして遊びを楽しんでいました。「面白い顔になったね」と、おかしな顔ができる度に友達と笑い合っていました。

## <大鍋>

こんにやくちぎりと人参の型抜きをしました。こんにやく特有の匂いに「ちょっと臭いよ〜」「小さいお友達も食べるから小さくちぎらないとね」と言いながら感触を楽しんでいました。人参の型抜きでは「かたくて手が痛いよ」と悪戦苦闘しながらも綺麗な形ができると喜んでいました。自分たちで作った豚汁は、何度もおかわりをするほど美味しかったです。



## <鬼の絵>

自分のお腹の中には、どんな鬼がいて、どんな鬼を退治したいのかを考えました。「おこりんぼう鬼」「泣き虫の鬼」などと、自分のことを振り返る良い機会になりました。そして、その鬼をイメージして画用紙いっぱいに描きました。「角は2本にするよ!」「牙も描くよ」などと、工夫しながら個性豊かな作品が完成しました。



## <なわとび>

自分の目標をもって短縄跳び、長縄跳びに取り組んでいます。繰り返し練習してきたことで、連続跳びができるようになってきた子が増えています。友達の様子に刺激され「もっと、沢山跳べるように練習するぞー!」と、意欲的に取り組んでいます。これからも達成感を味わえるよう認めたり励ましたりしていきます。



## <1月誕生会>

「クイズ」をしました。誕生児は答えのイラストを見て自分で考えたヒントをみんなに伝えます。誕生児の子たちは「簡単なヒントだとすぐにわっちゃうから難しいヒントにしよう!」といろいろ考えながらヒントを出していました。答える子も「なんだらう?」と、いろいろ考えて正解した時はみんな大喜びでした。